

月刊 社会保険 8

2018 VOL.817

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

全国社会保険委員会連合会 第26回総会開催

経済財政運営と改革の基本方針2018

～少子高齢化の克服による持続的な成長戦略の実現～(抜粋)

「日本年金機構における業務委託のあり方等に関する調査委員会報告書」を踏まえた対応状況
—外部委託・調達管理等の見直しプロジェクトチームにおける検討状況—

厚生労働省からのお知らせ

70歳以上の皆さまへ 平成30年8月から、高額療養費の上限額が変わります。

全国社会保険委員会連合会 第26回総会開催	4
経済財政運営と改革の基本方針2018～少子高齢化の克服による持続的な成長戦略の実現～(抜粋)	9
「日本年金機構における業務委託のあり方等に関する調査委員会報告書」を踏まえた対応状況 —外部委託・調達管理等の見直しプロジェクトチームにおける検討状況—	14
厚生労働省からのお知らせ 70歳以上の皆さまへ 平成30年8月から、高額療養費の上限額が変わります。	16
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員の活動について ケ-・ティ-・シ-グループ健康保険組合常務理事 武藤 圭二	18
書評 内田 貴 著『法学の誕生—近代日本にとって「法」とは何であったか』	20
持続可能な社会の扉を開けた人たち 第1回(後編) 社会をよくするために動く力がサステナビリティの実践力となる 株式会社オーセンティックス代表取締役社長 高田 誠 株式会社朝日エル会長 岡山 慶子	21
自分が変われば会社も変わる!? ビジネスチャンスを広げる行動変容 第4回 健康な「人と組織」 埼玉学園大学教授 古澤 照幸	24
さまざまな視点から考える認知症 第4回 アルツハイマー型認知症だった父の介護の失敗—認知症介護・家族の視点— NPO法人ハート・リング運動専務理事 早田 雅美	26
認知症を予防する 第4回 運動と健康効果 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことは——竹内敏信 「光の響」 「樹の風景」

新潟県妙高高原町



8月は、木々の葉がもっとも色濃くなる。
太陽が1年の中でも最も高く、蒸し暑い季節である。私のモットーでもあるが、暑い季節は暑い場所に行く、寒い季節は寒い場所に行く。それが本来の季節を楽しむ秘訣だと、私は考えている。これは、写真を撮る前提の話ではある。
夏に、暑いと感じる場所に行けば、自ずと夏の風景は見えてくる。そのときどう感じたのか、それが作品となる。
この写真の場合、暑い中ふっと強い風が吹き、心地よさと爽快感を一瞬感じさせてくれた。この風が静まると、また蒸し暑くなる。このいつときの安らぎを楽しむのもいいものだ。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

社会保険委員の活動について



ケー・ティー・シーグループ健康保険組合常務理事
武藤 圭二

●地域の紹介
愛知県は、日本列島のほぼ中央に位置し、高速道路、鉄道、港、空港をはじめとした主要な交通網が縦横に整備されていることから、東京、大阪と並んで日本の3大都市圏を形成しています。

気候は、太平洋の黒潮の影響を受けて全般的に温暖で、自動車産業を筆頭に機械系技術の先端的な工業県であるとともに、陶磁器、繊維など伝統的な軽工業も盛んで、重工業が調和ある発展をしている総合的工業県の典型といわれています。

また、東西2大都市圏に比べ、土地、水資源などにゆとりを残した大都市圏であることから、農・水産業や商業も盛んであり、工業・商業・農業の3者がバランスよく共生社会を形成していることも特色といわれています。

現在、県庁所在地である名古屋市は、2027年のリニア中央新幹線開通（東京～名古屋間）に向けて、駅前をはじめ市内中心部で大型ビルの建設や商業施設の新規参入など、さまざまな再開発が相次いでおり、今後どのような変貌を遂げるのか、大変楽しみになっています。

●個人として
現在、私は母体企業である中央出版株式会社はじめ、全国で47社の関連事業所が加入する単一の健康保険組合で仕事をしています。

入社当時は、教育教材の訪問販売からスタートしたのですが、その後、営業促進、新卒採用人事を経て、平成10年に本社勤務課に配属となったときに、グループ会社内のひとつの法人の社会保険委員となりました。

健康保険組合へ異動後も、引き続き社会保険委員としてさまざまな研修会や行事に参加させていただき、平成17年からは大曾根社会保険委員会の評議員であった母体上司の定年退職に伴い、評議員を引き継ぐこととなりました。

研修会などで年金制度の改正点などについていろいろと学ばせていただくことも、大変重要でありがたいことなのですが、業種や規模などまったく異なるさまざまな会社の年金委員の方々と交流することにより、それぞれの業務への取組みや工夫されている点などを知ることができ、非常に有意義な機会をいただいていると思っています。

当組合の加入者は平均年齢が33.24歳と若いこともあり、年金委員と



しての活動はあまり多くはないのですが、年金も健康保険も毎年のように制度が改正され、複雑化しています。したがって、まずその内容をわれわれがしっかりと理解し、加入者や母体の労働担当者にわかりやすく伝えていくこと、特に社会保険における用語は、全般的にかなり特有で専門的ないまわしが多いことから、できるだけ一般的な言葉で伝えるよう心掛けています。

全団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年度に向けて、国や医療提供者、われわれ健保組合

が役割を務めるだけではなく、支える側の現役世代が公的年金制度や国民皆保険制度のありがたみや大切さを理解し、その課題を正しく認識することも求められています。

制度への理解、適切な受診などの働きかけによる医療費に関するコスト意識、貴重な保険料を大切に使う意識を持つ、セルフメディケーションの努力など、加入者に対して積極的に発信をしていくことも、今後必要であろうと考えています。

●委員会活動について

当委員会の平成29年度の事業では、理事会および理事・評議員会を年5回開催しました。

7月の全委員を対象とした事務研究会では、年金制度等に関する事務研修、全国健康保険協会の職員による講演、愛知県理学療法士会鳥山喜之代表理事より「腰痛予防について」と題して講演をいただきました。

10月には特別研修研究会（研修および優良事業所視察）として、岐阜県各務原市にある「くすり博物館」（イーザイ株式会社）を見学し、その後木曾川鵜飼いと犬山城下町を巡り、会員同士の親睦を深めました。

11月には日本年金機構・全国健康

保険協会愛知支部・愛知県社会保険委員会連合会の合同主催として、県全体で愛知県年金委員・健康保険委員大会を開催し、年金委員・健康保険委員功労者厚生労働大臣表彰を実施するとともに、愛知県歯科医師会内堀典保会長、愛知県薬剤師会長月進会長より記念講演としてお話をいただきました。

後日開催した大曾根社会保険委員大会では、受賞された年金委員による体験発表、年金制度等に関する事務研修、全国健康保険協会職員による講演、シーシーエスコピー株式会社営業部長岡浩史業務課長より「コピーとはちみつがよい職場を作る」と題した講演会を開催しました。

講師の方々はいずれも全国健康保険協会愛知支部と理事・評議員が勤務されている事業所にご協力いただき、普段あまり聞く機会がない大変興味あるお話を聞くことができました。

その他、会報「大曾根委員だより」の記事を理事・評議員全員が持ちまわりで分担し、編集会議を経て加入員事業所に向けて年2回発行しています。



ケー・ティー・シーグループ健康保険組合

●おわりに

私の所属する大曾根社会保険委員会は、地域代表年金事務所のひとつである大曾根年金事務所の管轄内事業所の年金委員で組織しています。前村井茂樹会長の退任に伴い、昨年10月より大曾根社会保険委員会の会長職、当年4月より県内16委員会を構成する愛知県社会保険委員会連合会の会長職という重職を拝命することとなりました。

幸いにも歴代関係者の皆様のご尽力により、愛知県では日本年金機構、全国健康保険協会愛知支部、一般財団法人愛知県社会保険協会、愛知県社会保険委員会連合会の職員、役員、委員、会員の皆様が、日頃から親密な関係を持ち連絡を密にしていま

す。今後も引き続きさまざまな行事や研修会にご参加、ご協力いただきながら、情報交換、意見交換を行うなど共に交流を深め、なお一層社会保険委員会としての事業を推進してまいります。

最後になりますが、今後も引き続き種々制度改正が行われていくとともに、行政手続の簡素化等、われわれを取り巻く環境も変わっていくことと思われま

す。全国の年金委員・健康保険委員の皆様方のご健勝とますますのご活躍を祈念いたしまして、結びとさせていただきます。

（愛知県社会保険委員会連合会会長 大曾根社会保険委員会会長）